

伊集院保健所感染症情報

2023年第45週（令和5年11月6日～令和5年11月12日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiki/kagoshima/index.html>

定点把握感染症



県内において『インフルエンザ流行発生注意報』が発令中です。

警報レベルの保健所：出水（52.80）

注意報レベルの保健所：鹿児島市（24.18）、指宿（24.67）、川薩（17.00）、鹿屋（24.38）、徳之島（20.20）

～鹿児島県感染症情報 44 週報より～

定点医療機関【インフルエンザ5、小児科3、基幹定点1】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第42週	第43週	第44週	第45週	先週からの増減	第44週	前週からの増減
インフルエンザ	30	10	10	4.80	4.80	4.60	9.00	↗	17.57	↗
COVID-19	—	—	—	4.20	3.00	4.60	3.60	↘	2.01	↘
咽頭結膜熱	3	1	—	1.33	1.67	0.67	2.00	↗	1.88	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	—	0.67	3.00	2.67	2.67	→	1.65	↘
感染性胃腸炎	20	12	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	3.92	↗
水痘	2	1	1	0.67	0.67	0.00	0.67	↗	0.14	↘
手足口病	5	2	—	2.00	1.67	0.33	0.67	↗	1.39	↗
伝染性紅斑	2	1	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	↘
突発性発しん	—	—	—	0.00	0.67	0.33	0.00	↘	0.37	↘
ヘルパンギーナ	6	2	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.12	↘
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.67	0.00	0.00	→	0.02	↘
R S ウイルス感染症	—	—	—	0.33	1.00	0.67	0.33	↘	0.14	↘
基幹定点からの届出状況			該当なし							
インフルエンザ入院サーベイランス			該当なし							
COVID-19入院サーベイランス			該当なし							
全数報告（かっこ内は本年の累積数）			該当なし							

※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし、注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし

TOPIC HIV 夜間検査を実施します！

11月16日から12月15日まで「鹿児島レッドリボン月間」が始まります。県内では保健所での夜間・休日検査や街頭キャンペーン等様々な取り組みが行われます。

なお、伊集院保健所では、レッドリボン月間中に下記のとおり夜間検査を実施します。無料・匿名で検査を受けられます。予約等、詳細につきましては、保健所に直接問い合わせください。

〔HIV夜間検査〕 場所：伊集院保健所（電話番号 099-273-2332）

日時：令和5年12月1日（金）午後5時～7時

備考：要予約。11月24日（金）午後5時までにご連絡ください。

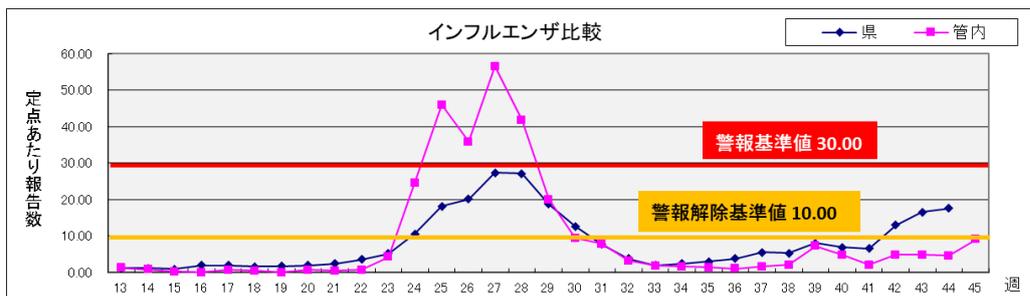


エイズの原因ウイルスは、性行為以外の日常的な接触で感染することはありません。皆さんもエイズについて正しく理解し、その予防に努めるとともに、患者や感染者に対する偏見や差別をなくしていきましょう。

● 注意すべき感染症

● インフルエンザ

今週の伊集院保健所管内におけるインフルエンザの報告数は、前週の23人（定点あたり4.60）より22人多い45人（定点あたり9.00）で



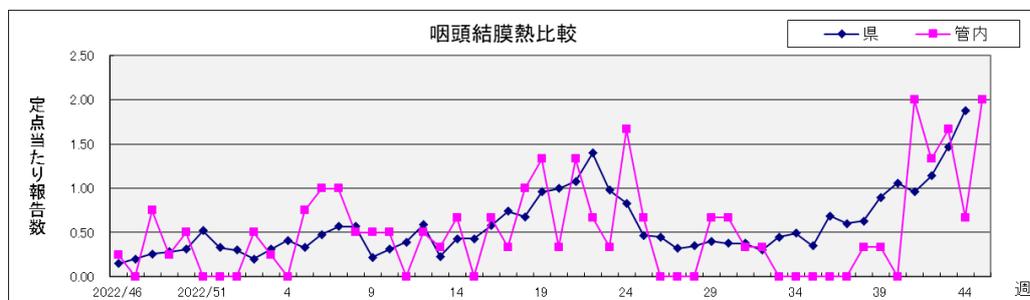
した。年齢別では、10～14歳（17人）、9歳（7人）、40～49歳（5人）の順に多い報告でした。

小児ではまれに急性脳症を、御高齢の方や免疫力の低下している方では二次性の肺炎を伴うなど重症になることがあり、それぞれ注意が必要です。

★インフルエンザ罹患後の登校基準：発症した後5日を経過し、かつ解熱した後2日を経過してから（学校保健安全法）。

● 咽頭結膜熱

今週の伊集院保健所管内における咽頭結膜熱の報告数は、前週の2人（定点あたり0.67）から4人多い6人（2.00）に増加



しました。年齢別では、3歳（3人）、6～11ヶ月・1歳・5歳（各1人）でした。

咽頭結膜熱は、プール熱とも呼ばれ、発熱、のどの痛み、結膜炎が3～5日続く病気です。

例年は6月ごろから徐々に増加しはじめ7～8月にピークとなりますが、国立感染症研究所感染症週報43週報によると、今年の全国の報告数は過去5年間の同時期と比較してかなり多い報告となっています。

ポイント

○患者との密接な接触を避けましょう（タオルなどは別々に！）。

○アルコール消毒は効きにくいいため、石けんと流水でこまめに手を洗いましょう。

○小児の集団生活では感染が拡大しやすいことから、体調不良者は出勤・登園等を控えましょう。

○吐きけ、頭痛の強いとき、せきが激しいときは早めに医療機関に相談しましょう。

○学校における感染症による出席停止の状況 11/6～11/12

（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

前週と比較して、インフルエンザ、COVID-19ともに増加しています。学級閉鎖等の報告はありませんでした。

自治体名	疾患名 インフル エンザ	インフル エンザA 型	手足口病	新型コロナ 感染症
日置市	32	4	3	8
いちき串木野市	13	6	0	2
三島村	0	0	0	0
土島村	0	0	0	0
計	45	10	3	10

COVID-19・インフルエンザの感染症対策

○手に着いたウイルスが、眼や鼻などの粘膜に付着することで感染します。液体石けんと流水によるこまめな手洗い、または手指消毒を行いましょう。

○着用が効果的な場面ではマスクを着用しましょう。

例えば、せきなどの症状があるとき、受診時や医療機関・高齢者施設などを訪問するとき、混雑した電車やバス等に乗車するとき、重症化リスクの高い方（高齢者・基礎疾患を有する方・妊婦）が感染拡大時に混雑した場所に行くときなどです。

○十分な睡眠と栄養バランスの良い食事をとり、体力づくりをしましょう。

○室内を適度に加湿し、換気を行いましょう。

○かかりつけ医と相談し、ワクチン接種を検討しましょう。

